

富山県看護連盟 砺波・小矢部・南砺支部合同研修会報告 (平成28年4月分)

区分	内 容			
研修会の名	平成28年度 3支部合同研修会			
研修の目的 ねらい	診療報酬の基本的知識と改訂点を学び、看護に及ぼす影響と課題を理解する。			
開催日	平成28年4月24日(日) 13:30～16:00			
会場	市立砺波総合病院 講堂			
主催	3支部 (砺波、小矢部、南砺)			
対象者	看護職、			
参加者数	94名(砺波支部45名、小矢部支部16名、南砺支部33名、)			
研修方法	講演 提言	解説・説明 実技	グループワーク 他(アトラクション)	意見交換
内容	別紙			
特記事項	・参議院選挙も間近で参加者も多い。 ・診療報酬の講義は難しかった。			

提出日 平成28年5月6日

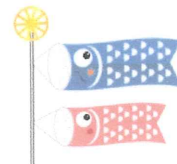
提出者 作田 克喜

資料添付 有

地区支部研修会を開催しました

吹く風も暖かく感じる季節となってきた4月24日、砺波・小矢部・南砺地区支部研修を開催しました。研修会を開催するにあたり、

富山県議会議員 瘧師富士夫様
砺波市議会議員 大楠匡子様
より祝辞をいただきました。



今回は、富山県看護連盟会長 三谷順子さんから「富山県看護連盟の現状と課題」についてのお話と
ニチイ学館本社 医療関連事業部 石富充さんから「診療報酬が看護に及ぼす影響」について講演して
いただきました

三谷会長の講演を聞いて

- ・いかに看護連盟の入会が大切か分かった
- ・会長に話は分かりやすく力をいただきました
- ・7月の参議院通常選挙には必ず投票に行きたいと思いきすとの声が聞かれました
(アンケート結果より)



94名が参加



- ・看護に政策が必要なわけは、現状を改善したり、働く人を支援するために法律や制度や仕組みを変えていく必要があるからです
- ・現在、富山県看護連盟会員は看護協会会員の54%です。まずは60%に増やしていきましょう
- ・休日勤務のある看護職は期日前投票を活用しましょう
- ・選挙の意義を理解して、必ず選挙に行きましょう

・「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」についてはA項目の追加（無菌治療室治療、救急搬送後の入院を追加）、B項目の見直し（認知症関連項目の追加など）、C項目の新設が行われました。こうした見直し後の評価票に基づいて重症患者をピックアップし、7対1病棟では「原則として重症患者割合が25%以上である」ことが必要となります

・退院支援に関する評価も大きく見直されました。「退院支援加算1」を取るためには（1）退院支援部門を設置し、「専従の社会福祉士1名以上＋専任の看護師」または「専従の看護師1名以上＋専任の社会福祉士」を配置する
（2）病棟に、「退院支援および地域連携業務に専従する看護師または社会福祉士」を専任で配置する必要があります



研修後アンケート結果

- ・会員数が増えるように自分でも声をかけていきたいと思います
- ・たかがい氏のお会いする機会があった後での講演で改めて、その必要性や頑張られている内容を理解しながら聞くことができました
- ・DPCのことなど、あまりわからなかったけど少し、理解することができました。知っておくことは大事だなと思いました
- ・自分の知識が無さ過ぎて難しかった。基本的なところから教えてもらいたい
- ・教えていただいたことを意識して業務にあたりたいと思った

